

## 基本的方向2 エコな「ライフ&ワーク」スタイルの推進

私たちは、自らの生活が、自然や環境にマイナスの影響を与えているということを認識して、水やガス、電気などの資源やエネルギーを使いすぎたり、まだ使える物を簡単に捨てたり、不要なものを買うことを止めるなど、これ以上環境問題を深刻化させないために、環境への負荷を低減する取組みを実践することが重要です。このような、日常生活や事業活動を見直して、環境に配慮した行動へ変革するのがエコなライフ&ワークです。地球温暖化防止のために再生可能エネルギーを効率よく利用することや、エネルギー全般の節約を日常生活や事業活動の中で推進し、習慣化することで、社会資本を含めた低炭素化に取り組むことが必要です。そのためにも、継続的に事業活動や市民生活の中で、環境を意識した行動へ変換する取組みに対する支援策も含めた仕組みづくりが求められています。

### ●基本的方向2の具体的な取組み

#### 2-1 家庭における環境負荷低減活動の推進

- 省エネルギー住宅の普及啓発
- エコライフの普及啓発
- 環境拠点の運営
- 雨水の有効利用の促進

#### 2-2 事業活動における環境負荷低減活動の推進

- 地域ぐるみ環境 ISO 研究会の活動推進
- 環境マネジメントシステムの運用・推進
- 雨水の有効利用の促進

#### 2-3 学校・保育園における環境負荷低減活動の推進

- 学校のいいむす 21・保育園のいいむす 21 の運用・推進
- 雨水の有効利用の促進

#### 2-4 地域活動における環境負荷低減活動の推進

- 市民活動への支援と協働

### ●基本的方向2の目的の達成度を表す指標の達成状況

指標 番号	目的の達成度を表す指標	単位	平成 32 年度	平成 29 年度 目標	平成 29 年度 実績	達成 状況
1	飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量※1	t-CO <sub>2</sub>	602,522	677,900 (H28)	709,918 (H28)	△
2	再生可能エネルギー利用等による温室効果ガスの削減量	t-CO <sub>2</sub>	28,430	26,089	30,686	◎
3	市内の太陽光発電電力量が一般家庭の年間電力消費量に占める割合	%	25.76	23.77	28.62	◎
4	環境負荷低減活動を継続的に実施している市民の割合	%	100.0	90.4	86.3	△
5	環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業所数	所	225	210	208	△
6	一世帯あたりの温室効果ガス平均排出量	t-CO <sub>2</sub>	3.06	3.43	3.78	△
7	飯田市市内の森林管理による温室効果ガスの吸収量	t-CO <sub>2</sub>	4,288	10,72	18,12	◎

◎：目標以上の達成

○：目標達成

△：目標未達成だが上昇傾向 ×：目標未達成で横ばいまたは下降傾向

※1 温室効果ガスの排出量は、1年遅れでの算出となる

基本的方向1と同様の指標であるため、グラフは省略

●基本的方向2の具体的な取り組みの実施状況

基本的方向2-1 家庭における環境負荷低減活動の推進

(1) 計画期間中の取り組み目標

- ア 建築関係業者の環境配慮型住宅に対する知識や技術がさらに高まり、省エネルギー住宅の普及に向けた取り組みが広く展開されています。
- イ 環境問題への関心が高まり、省エネルギーを意識したライフスタイルに変化しています。節電、節水、エコドライブ、リサイクルの徹底など、環境を意識した日常生活が習慣化されています。
- ウ 「りんご並木のエコハウス」の来場者に、エコハウスのメリットを直接体験してもらうことで、環境配慮型住宅の普及に繋げるとともに、低炭素なまちづくりの重要性が浸透しています。
- エ 「旧飯田測候所」が環境教育の拠点として、環境人材を育成し、環境に関する情報を発信しています。

(2) 取り組み目標に対する進捗状況

4年後の目標に到達する手段	H29年度の進捗状況
① 「りんご並木のエコハウス」などを活用し、省エネルギー住宅の普及啓発を行う。	◎ 実施中
② 省エネルギー、節水、節電など環境負荷低減活動を推進し、その成果の見える化と把握方法について研究する。	○ 実施中
③ 「旧飯田測候所」を活用した環境関連の学習やセミナーなどを行う。	◎ 実施中

◎：目標達成または計画通りに推移    ○：目標達成に向けて実施中  
 △：外部要因により実施停滞        ×：未着手

(3) 平成29年度の取り組み状況及び課題

<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常生活における低炭素活動の普及を図るため、エコハウスを運営し、エコカフェ事業、エコライフコーディネーターによる啓発事業などを行いました。</li> <li>② 旧飯田測候所を適切に管理し、環境教育の拠点となる事業及び地域と協働したコミュニティ活動を創出するよう運営を行いました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① エコハウスの来場者数が減少傾向にあるため、増加させるための取り組みが必要です。</li> <li>② 「旧飯田測候所」は、施設の老朽化などにより修繕を必要とする箇所があることが課題となっています。</li> </ul>
---

(4) 対応する事務事業（資料編参照）

- ア No.150 環境モデル都市行動計画進行管理事業
- イ No.155 省エネルギー推進事業
- ウ No.156 エコライフ啓発普及事業
- エ No.157 旧飯田測候所活用事業

## 基本的方向 2-2 事業活動における環境負荷低減活動の推進

### (1) 計画期間中の取り組み目標

- ア ISO 14001 や地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす 21」などに取り組む事業所数が、現在より増えています。
- イ 上記以外の事業所でも、「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」などの呼びかけによるノーマイカー運動などの一斉行動などに取り組み、地域全体での環境改善活動が行われています。

### (2) 取り組み目標に対する進捗状況

4年後の目標に到達する手段	H29 年度の進捗状況
① 地域内の事業所が、経営環境及び力量に応じた ISO 14001 や地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす 21」などに取り組む。	○ 実施中

◎：目標達成または計画通りに推移 ○：目標達成に向けて実施中

△：外部要因により実施停滞 ×：未着手

### (3) 平成 29 年度の取り組み状況及び課題

#### 【取り組み状況】

南信州いいむす 21 の全面改正作業を行うため、地域ぐるみ環境 ISO 研究会でプロジェクトチームを発足させ進めました。環境マネジメントシステムをこの地域で普及させていくためにも、よりわかりやすく、かつ環境パフォーマンスが上がる内容となるよう、全体会議 8 回、部門別会議 19 回開催し、平成 30 年 9 月のリリースに向けて準備を進めてきました。

#### 【課題】

新たに取り組む事業所の創出に向けて、呼びかけ及び PR が必要です。

### (4) 対応する事務事業（資料編参照）

No.149 ISO14001 推進事業

## 基本的方向2-3 学校・保育園における環境負荷低減活動の推進

### (1) 計画期間中の取り組み目標

- ア 市内の小中学校において運用されている「学校のいいむす21」、公立保育園において運用されている「保育園のいいむす21」が、さらに教育に特化し運用しやすいよう、システム改善が進んでいます。それを基に、私立の保育園、幼稚園においても環境改善活動の輪が広がっています。
- イ 南信州地域の高校全8校で「南信州いいむす21」が運用され、高校における環境改善活動の輪が広がっています。

### (2) 取り組み目標に対する進捗状況

4年後の目標に到達する手段	H29年度の進捗状況
① ・「保育園のいいむす21」及び「学校のいいむす21」に取り組む施設または組織の拡大と、システムの定着を目指す。 ・上記のシステムをISO 14001の2015年版規格改訂に合わせ、対象者及び施設の特異性を踏まえながら、システムの改善を検討する。	◎ 実施中

- ◎：目標達成または計画通りに推移    ○：目標達成に向けて実施中  
△：外部要因により実施停滞        ×：未着手

### (3) 平成29年度の取り組み状況及び課題

<p>【取り組み状況】</p> <p>南信州いいむす21の規格改正作業を行いました。</p> <p>【課題】</p> <p>① 改正した南信州いいむす21のリリース及び説明と、学校等の実情に対応した新たないいむす21の構築が必要です。また、試行を行い、さらにブラッシュアップして行くことで、取り組みやすいものとする必要があります。</p> <p>② 高校や短大でも取り組めるように協議を進めるとともに、実情に合った「高校版いいむす21」「短大版いいむす21」を構築するとともに、「保育園のいいむす21」「学校のいいむす21」の改正を行います。</p>
---

### (4) 対応する事務事業（資料編参照）

No.149 ISO14001 推進事業

## 基本的方向2-4 地域活動における環境負荷低減活動の推進

### (1) 計画期間中の取り組み目標

- ア まちづくり委員会による各地域での環境啓発活動と、各種団体などによる実践的な環境負荷軽減活動との協働により、地域に根差した意識啓発が行われています。
- イ 一般家庭に導入しやすく効果の高い取組みなどの情報が共有され、環境負荷低減活動に対する市民の意識が向上し、行動に結びついています。

### (2) 取り組み目標に対する進捗状況

4年後の目標に到達する手段	H29年度の進捗状況
① 日常生活において、幅広い環境負荷低減活動が行えるよう各種団体が集い交流する場を創出し、市民への普及啓発を協働して取り組む。	◎ 実施中

◎：目標達成または計画通りに推移    ○：目標達成に向けて実施中

△：外部要因により実施停滞        ×：未着手

### (3) 平成29年度の取り組み状況と課題

#### 【取り組み状況】

実践的な環境負荷軽減活動として水辺等美化活動事業（河川清掃事業）を実施しました。

#### 【課題】

河川清掃参加者の高齢化とそれによる重大事故が危惧されるため、無理のない作業をしていただくように各地区へ依頼を行います。

### (4) 対応する事務事業（資料編参照）

- ア No.142 環境衛生事業
- イ No.150 環境モデル都市行動計画進行管理事業
- ウ No.156 エコライフ啓発普及事業
- エ No.157 旧飯田測候所活用事業
- オ No.159 3R推進事業